

令和5年5月31日

# 緑小だより

横浜市立緑小学校 6月号



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohama.jp URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

## 体育発表会、開港記念日

校長 寺澤 みゆき

5月27日(土)に開催した体育発表会には、保護者の皆様、学校運営協議会の皆様にご来校いただき、子どもたちの演技や競技への御声援や励ましのお言葉をいただけたことに感謝申し上げます。受付、パトロール、会場整理に御協力いただいたPTA役員、さぼーと隊の皆様、本当にありがとうございました。

保護者の皆様には、子どもの健康と安全のために2部制で行うことに対して御理解いただき、こころよく譲り合い、御参観いただけたことに感謝申し上げます。当日は事情で御参加、御来校が叶わなかった方々も、本校の体育発表会に心を寄せてくださっていたことと推察いたします。おかげさまで大きな混乱もなく、無事終わることができました。誠にありがとうございました。

各学年のよかったところについては各部閉会式の際に具体的に話しましたが、緑小学校の児童全体に感じたよさは一人ひとりが「本番にむけて努力を続ける姿」、そして他学年演技や競技を見るとき「声援や拍手を惜しまずにおくる姿」でした。

演技の動きは練習を重ねるごと、全校演技発表会を経て更に向上し、体育発表会当日は最高の姿として披露することができました。一人ひとりのめあての実現や、課題の克服ができた姿だと思います。今年度の体育発表会のテーマ「一人一人 本気でいどむ みどりっ子 一致団結!! 最高の笑顔を咲かせよう」を実現できた体育発表会でした。

早いもので明日から6月。横浜市立学校には特別な休日があります。それは、6月2日の横浜港が開港したことを記念した「開港記念日」です。先日の朝会では児童による開港記念に関するクイズと、「横浜市歌」についての話をし、横浜港が開港した頃のことを学びました。

今月の学校だよりでは、朝会で取り上げた「横浜市歌」について、保護者や地域の皆様にもお伝えしたいと思います。

「♪わが日の本は～」と歌いかけられると「♪島国よ～」と「ハマっ子」は思わず続けて歌ってしまうと、テレビ番組で取り上げられるくらいなじみ深い横浜市歌。この逸話には、横浜市立学校御出身の方は大きく頷かれることと思います。緑小学校でも5月には1年生の教室を中心に、いたるところから市歌を歌う元気な声が響いていました。緑小学校に限らず横浜市内の小学校では当たり前のように音楽の授業で市歌を学びます。そして、始業式や修了式、卒業証書授与式には必ず斉唱します。毎年当たり前のように歌っていくため、しっかりと定着するのです。

横浜市歌は明治42年、横浜の開港50周年を記念して作られたものです。作詞は世界的にも有名な小説家、森 林太郎(鷗外)、作曲は、当時東京音楽学校(現在の東京藝術大学)助教授だった南能衛(よしえ)氏です。今年は横浜開港164年目であることから、横浜市歌は114年にわたり歌い継がれていることとなります。皆が歌えることだけでなく、このように長く市民に親しまれてきたということも、他に例がないようです。

道徳科で指導する内容項目に、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」があります。自分の出身国や郷土の文化や生活を大切にするとともに、日々を過ごしている緑小学校、地域、そして横浜市への親しみや愛着をもてるよう指導していきます。

今月も、本校の教育活動へのご理解、ご協力を、どうぞよろしく願いいたします。